

# 図書館だより



4月号

2022年4月26日  
安田小学校図書室

新しい1年が始まりました。今年度も安田小学校の図書室は、みんなの“読みたい気持ち”“知りたい気持ち”を応援します。やくそくをまもって、楽しく図書室を使いましょう。

## 図書室のやくそく

- 返す日をまもろう
- 本をたいせつに
- しずかに読もう

## ■図書館びらき・オリエンテーション



4年生 ストーリーテリングの様子

1年生の図書館びらきと、2～4年生のオリエンテーションがありました。1年生には、ハンドパペットやパネルシアターを使って「図書室は楽しい」「また来たい」と思えるような出し物を。2年生以上には、想像力で物語を楽しむきっかけづくりとしてストーリーテリングを行いました。

## 保護者の皆様へ

はっぼうりょうご

今年度から安田小学校で司書として勤務させていただきます八方綾子と申します。働き始めて1か月ほどですが、安田小学校にかよわれているお子様方の優しい姿を何度も見る事ができました。雨の日、高学年が、傘置きのもととまどっている1年生に手を添えながら説明をしてあげたり、図書委員がカウンター当番以外でも来て「何か仕事がありますか？」と声をかけてくれたりと、どのお子様も「楽しく剛く」の気持ちをしっかり持っていると感じます。

今年度の本校の図書館教育のねらいは「いろいろな読み物を進んで読むとともに、目的に応じて調べることができるようになる」です。授業はもちろん、朝の10分間読書やリーディングビジットといった様々な取り組みで、日常的に読書に親しむ機会を提供していきます。

小学校6年間は長いようであつという間です。その中で、年齢に沿った良い本、心が深く耕される本に出会い、豊かな想像力をはぐくんでいってほしいと思っています。ご家庭でも、ぜひ本について語る時間、家族で静かに読書をする楽しい時間を持っていただけたらと思います。高学年では、お子様に本を選んでもらったり、読んでもらったりするのもよい体験になるのではないのでしょうか。図書室は、本の紹介や親子読書を通して、家庭での読書も支援していきます。学校にお越しの際は気軽にお声がけください。

## 学年別おすすめの本

国語の教科書に掲載されている本の中から、各学年1冊を紹介します。

1年生

『もけらもけら』

山下洋輔/ぶん 福音館書店



ふしぎな絵に、ふしぎなことばがくつついた、ふしぎな絵本。でも、口に出して読んでみてください。わくわく楽しくなって、くりかえし読みたくなってしまいますよ。

2年生

『チムとゆうかなせんちょうさん』

E・アーディゾーニ/文・絵 福音館書店

どうしても船乗りになりたいちびっこのチムは、ないしょで汽船に乗り込みます。一生懸命働いて、本物の船乗りたちに認められていくのですが、なんと大嵐がやってきて、船が沈没してしまいます。美しい絵と起承転結がはっきりしたお話で満足感のある絵本です。

3年生

『火曜日のごちそうはヒキガエル』

ラッセル・エリクソン/著 評論社



カエルのウォートンは、お菓子をおばさんに届けるために、雪の中を出かけました。ところが途中で恐ろしいみずくにつかまってしまいます。ウォートンはこのまま「ごちそう」になってしまうのでしょうか。

4年生

『じっぼ』

まいごのかっぱはくいしんぼう』  
たつみや章/作 あかね書房

大洪水の翌日、太郎は道端で本物の「かっぱ」をひろいます。「じっぼ」と名付けて家族にも秘密で飼っていたのですが、学校の人にもばれてしまい、「じっぼ」は研究のために大学に連れていかれることになってしまいます。

5年生

『オオサンショウウオの夏』

阿部夏丸/著 佼成出版社



夏休み、お父さんの実家がある広島県の江の川に行ったユウスケは、川遊びが上手な男の子トモに出会います。はじめは乗り気ではなかったのに、いつのまにか夢中で魚をとるユウスケにトモはある計画を持ち掛けます。結末に驚きのあるファンタジー。

6年生

『夏の庭』

湯本香樹実/作 新潮社



「死んだ人、見たことがあるか」という言葉がきっかけで、小学6年生のぼくたち3人組は近所のおじいさんを見張ることにした。最初は嫌な人だと思ったけど、ひとりぼっちのおじいさんの生きざまから目が離せなくなっていた。